



同窓会の絆を深める130周年記念事業

松楠会 会長 西山 徹



元号が令和に変わり、また、新しい紙幣のデザインが発表されるなど時代の躍動を感じるこの頃です。3月24日(日)には学内理事の皆様が卒業生に対して本会への入会を呼びかけてくださり、203名の新しい会員が誕生しました。そして、5月18日(土)の理事会を経て、6月1日(土)の評議員会(総会)の承認を得、本年度の計画が決まりました。例年実施している事業の上に、本年度は香川大学教育学部創立130周年記念事業を行います。昨年度の評議員会で開催が承認され、梶野副会長を実行委員長、山神理事長を副委員長として実行委員会を組織し、会を重ね準備をしています。そして、記念誌に掲載するために募集した母校で過ごした思い出の写真や寄稿文も計画通り集まっており、記念誌編集作業も順調に進んでいます。明治23年に教育学部の前身である香川県尋常師範学校が開校し、翌年には「香川同窓会」として松楠会の元となる同窓会が発足しています。同窓会の絆を同年輩の横糸と130年という長い縦糸で紡ぎ、より一層強める機会にしたいと考えています。今年度は更なるご支援、ご協力をいただくことが多々ありますがどうぞよろしくお願いいたします。

創立130周年の節目の年を迎えます。

香川大学教育学部長・教育学研究科長 毛利 猛



香川大学教育学部は、ながい沿革の歴史をもつ学部です。その前身である香川県尋常師範学校は明治23年(1890年)に開校しました。元号が平成から令和に変わる本年度、香川大学教育学部は、創立130周年の節目の年を迎えます。

松楠会会員の皆さまには、日頃より母校へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。令和元年度を迎えて、学部・研究科の現状と今後について報告させていただきます。

大学院教育学研究科は、令和2年4月に、教科領域の教育を含む拡充した教職大学院(高度教職実践専攻)への重点化を行います。教職大学院への重点化に伴い、修士課程の学校教育専攻・教科教育専攻の2専攻は募集を停止します。学校臨床心理専攻については、医学系研究科に移行します。

教育学部においては、平成30年度から人間発達環境課程が募集停止しました。これにより新しい教育学部は、160名を入学定員とし、学校種別の3コース(幼児教育コース、小学校教育コース、中学校教育コース)からなる、教員養成に特化した学部になりました。

香川大学教育学部は平成31年3月に、高松市教育委員会との間で連携協力に関する協定を締結しました。今後、実践的な教員養成や教職員研修の充実、教育上の諸課題への対応など、教育分野での連携した取組みを一層拡充し強化することになります。

香川大学教育学部と大学院教育学研究科は、これからも地域創生時代の教育の発展に貢献します。松楠会会員の皆さまには、どうか今後とも母校を応援していただきますようお願い申し上げます。

定年を迎えて

小川 育子



本年3月31日をもちまして、教育学部での32年半を無事終え、定年を迎えることができました。在任中は松楠会の皆様から、多大なご厚情・ご支援を賜りました。心より御礼申し上げます。

学内の他組織の教員である友人から伺った、数年前の全学共通科目の講義でのお話です。「あなたはコンビニの店長さんです。ある高校生がバイトに入ると必ずお金がなくなります。防犯カメラでも確認しました。あなたはどうしますか？」という問いに、他学部生はみんな「法的な手段をとる。」というのに対し、教育学部生は全員が「高校生の将来がかかっている。まずは話し合いをする。」という答えだったそうです。

教育学部の卒業生の皆様が、立派な社会人となられ、香川県の教育界はじめ様々な分野で、中心的な役割を担っておられるのは、このようにいつも人を温かく見守る資質があつてのことと拝察しております。このような学生に囲まれていた喜びと、このような学生の中だったからこそ、私でも無事に務めることができたことを実感しております。

本当に楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

最後になりましたが、松楠会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍、ご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

定年退職を前にして

加野 芳正



今、定年退職を前にして私はとても寂しい思いでいます。自分にとって、家族のことを除けば、香川大学教育学部で仕事をしたことがほとんどすべてだからです。新聞やテレビも、「授業で使えるものないかな」といった問題意識で読んだり、視聴したりすることが多かったので、心なしか新聞を読む元気もなくなりました。

「先生」の仕事の大部分は、知識・技術や自分の経験を次の世代に伝達することです。視点を変えると、自分が勉強したことを聞いてくれる相手(学生)がいるということであり、これが教師という仕事の一番の魅力ではないかと思っています。「教師」という役割を与えられていなければ、どんなに高邁な話をしても、誰も聞いてくれないでしょう。そして、学生たちが学校の教壇に立ったとき、その知識はさらに次の世代に伝わっていきます。そう思うと、〈教育学部の先生〉としての仕事はとてもやりがいのある仕事だったなど、改めて気づかされます。

定年退職すると、教壇に立つことはできません。しかし、研究に定年はありません。ライオン通りや古馬場を徘徊するのも定年はありません。もう30年以上も前の話ですが、日本経済新聞のCMに「大学を卒業したら勉強しよう！」というのがありました。「定年退職したら本を書こう！」というのも「あり」だと思っています。

私は、香川大学教育学部に就職する前に思い描いていた漠然とした「自己像」に比して、教育にせよ、研究にせよ、社会貢献にせよ、より多くの「こと」ができたのではないかと密かに自負しています。このような思いに浸れるのも、たくさんの先生方、学生の皆さんに育てていただいたからです。長い間お世話になり、本当にありがとうございました。末筆ながら、教育学部と松楠会のますますの発展を祈念致します。

退職のご挨拶

西山 弘子

私は、高校までを高松で過ごし、大学・大学院を修了後、香川大学で34年間勤務した。したがって、中学校時代に松楠会会員の先生方のご指導を賜った。

その中で、忘れられない先生がいらっしゃる。昭和36年四番丁小学校の2年生だった折の担任「中村きみ子」(「きみ」の漢字は残念ながら覚えていない)先生である。30歳前でいらっしゃたのだろうか、小柄でエネルギッシュな先生であった。

その頃は、夏休みに「競書会」というのがあり、高松市内の全小学校の、1学年から一人が選ばれて8月22日に築地小(後に亀阜小)に集まって、「書を競う」のである。選ばれば、「学校を代表する選手として頑張れ」と言われた時代である。字が上手でもないのに選ばれた私は、大変であった。夏休みに毎朝3時間の練習である。金賞に選ばれるのは、学年で一人。1年生の時は銀賞しか取れず、2年生で金賞を受賞した。各人の作が三越に展示されることになり、中村先生は放課後、私を三越に連れて行ってくださった。先生は、「お祝いに本を買ってあげる」とおっしゃり、選んでくださったのが「フランダースの犬」であった。子供向けの本がたくさんある時代ではない。ネルロとパトラッシュの話を、暗記するほど読んだ。その後、講談社から『少女少女世界文学全集』が発刊されて母が買って来て、2ヶ月に1度の配本を心待ちにし、何度も何度も繰り返して読んでいた。

間もなく先生は、四番丁小学校から転勤されたと思う。私自身も附属高松小に転校したので、今まで一度もお会いしていない。しかし、先生のことは、60年近い時を経ても忘れられない。「字」はちっとも上手にならなかったが、大学で日本古典文学を専攻し、「古典を精読する」ことを一生の仕事としている今、心から中村先生に御礼を申し上げる。

感謝の2年間

十河 妹



交流人事教員として、2年間、香川大学に勤務する機会をいただきました。松楠会を始めとする香川大学関係の方々には、大変お世話になりました。香川大学とのご縁は初めてでしたが、たくさんの素晴らしい先生方、職員の方々と一緒に仕事をすることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。2年という短い期間でしたが、貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

小学校現場しか知らない私にとって、大学での講義は内容も構成も大変難しく、苦労の連続でしたが、この機会にこれまでの自分の実践を振り返り、まとめていく過程で、教員のやりがいを改めて実感することができました。また、「教員は大変な仕事」という世の中の風潮の中でも、自分の夢をつかむためにひたむきに頑張る学生を応援することに、大きな喜びを感じていました。中でも、困ったとき、悩んだときに、研究室を訪ねて来てくれた学生との対話は忘れられない思い出です。松楠会の長い歴史を受け継ぐ学生たちの素晴らしい頑張りに勇気づけられながら、微力でしたが指導に当たることができました。夢をつかみ、それぞれの地で教員生活を送っている卒業生たちの今後の活躍がとても楽しみです。

私事ですが、4月からは5年ぶりに小学校現場に戻り、毎日忙しくも充実した日々を送っております。香川大学で学んだことを、これからの教員生活に存分に生かしていきたいと思っております。

最後になりましたが、香川大学教育学部、並びに松楠会の今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

定年退職のご挨拶

藤田 尚史



平成31年3月31日付けで定年退職となりました。

香川大学に昭和56年4月に採用となり、この3月末の定年で38年間、香川大学一筋で勤めさせていただきました。

気がつけば、38年間というのは、あっという間に過ぎたような感覚です。

この間、周りの人に助けられ、おかげ様で大過なく勤め上げることができたと思っております。

顧みると、附属坂出小学校事務係で採用となり、当時の事務室に職員が私を含め常勤職員が3名配置されていました。パソコンなど無い時代なので、事務処理をするのも手書きでカーボン紙を使って書類を作成していた頃を懐かしく思い出します。また、昔のことではありますが、当時の校長先生、副校長先生と小学生のクラブ活動に参加して、卓球をしたこともあったと記憶しています。

その後は、学内の色々な部署に配属されました。財務部に居たときに、平成15年10月の香川医科大学との統合と平成16年4月の国立大学法人化に伴う移行時の事務処理については、苦労もありましたが周りの人に助けられ滞りなく達成できたことに誇りを感じております。

松楠会との関わりは、平成27年4月からは教育学部事務課長として、学内理事として4年間松楠会の運営に携わって参りました。今年度開催の教育学部創立130周年記念行事の盛会をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、松楠会の皆様のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

母校教員の異動

退職

平成31年 3月31日	退職(定年)	小川 育子	教授	H31.4.1付け名誉教授
	退職(定年)	加野 芳正	教授	H31.4.1付け名誉教授
	退職(定年)	西山 弘子	教授	H31.4.1付け名誉教授
	退職	十河 妹	准教授	交流人事教員
	退職	田村 道美	特命教授	

併任

平成31年 4月1日	永尾 智	附属高松小学校長
	坂井 聡	附属坂出小学校長・幼稚園長
	青山 夕夏	附属特別支援学校長

採用

平成31年 4月1日	講師	北原圭一郎	教科教育分野 国語領域
	准教授	久米 亜弥	教職実践 交流人事教員

昇任

平成31年 4月1日	教授	上野 耕平
	教授	片岡 元子
	教授	松本 一範
	教授	山本木ノ実

訃報

葛西 崇 (名誉教授)	平成30年7月5日	ご逝去
岡田 泰士 (名誉教授)	平成31年3月28日	ご逝去
森江 照 (前仲善支部長)	平成30年9月7日	ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

支部だより

高松支部 Takamatsu



昨年の総会は、8月25日(土)に西山会長様、山神理事長様、佐藤学内理事様にご臨席を賜り、JRホテルクレメント高松で開催されました。総会後の講演会では、「小学校・中学校の現状を語る」と題して、新学習指導要領の実施に向けて、働き方改革、世代交代等の諸課題について研修を深めました。

本支部では、総会への参加呼びかけの工夫と魅力ある研修の実施、地域委員や若年会員の情報・意見交換、総会時の講演内容の発信(会報)等を大事にしています。

本年も総会への参加をお待ちしています。

後藤 文男(教育・昭和46年卒)

丸亀支部 Marugame



8月27日(月)丸亀支部総会を、丸亀市生涯学習センターで開催し、松楠会本部から副会長貞廣美津子様、学内理事片岡元子様のご臨席をいただきました。議事審議の後、松原俊男先生の指導で「カメレオンカード」、前田の指導で「レインボースコープ」を作りました。児童・生徒の教材としても採用でき、おみやげにもなるものでした。総会後の懇親会も、思い出を語って過ごしました。来年の再会を約束した楽しい半日でした。

前田 伸雄(学芸・昭和40年卒)

坂出支部 Sakaide



坂出支部の会員は、現職120名、OB120名の計240名です。

昨年度、坂出支部総会を9月2日(日)に開催し、松楠会副会長の中西真理子様、学内理事の中島栄美子様のご臨席をいただきました。総会後には、現在、特別支援教室「すばる」で活躍中の香川大学教育学部中島栄美子准教授より「小・中学校における特別支援教育の現状と特別支援教室『すばる』の取り組み」と題してご講話をいただき、今後の教育活動への大きな力となりました。今後とも、充実した運営を図りたいと考えております。

桑原 育子(教育・平成4年卒・香川大学教育学部附属幼稚園)

大川支部 Okawa



平成30年度松楠会大川支部総会は、8月26日(日)に、さぬき市クアパーク津田にて開催されました。松楠会本部から西山徹会長、山本木ノ実理事をご来賓としてお招きし、30名の会員の出席をえて、盛大に行われました。

総会では、平成29年度の事業報告、会計報告、平成30年度の事業計画、予算案等について協議し、最後に役員改選を行いました。記念講演には、香川大学に関わる先生という点から、香川大学教職大学院准教授大熊裕樹先生に『自分から力と伸びよう心を持ち、考動できる子に』と題して、ご講演をいただきました。自分で考え、自分から動く子どもを育てる



ために必要なことをご示唆いただきました。総会、講演会後には、来賓、講師の先生を囲んで懇親会を開き、有意義なひとときを過ごしました。

大川支部の平成30年度の会員数は、390名(OB会員229名 現役会員161名)です。今後とも会員相互に連携を深めるとともに、先輩の先生方や本部の皆様の指導を賜りながら、会員の研修、懇親の場として充実した運営を進めていきたいと考えています。

山中 正治(教育・昭和62年卒・さぬき市立さぬき南小学校)

小豆 支部 Syozu



三木吉昭事務局長のご勇退に伴い、30年度から事務局を務めさせていただいております。私は若輩・微力ではありますが、会員の皆様のご支援、ご協力を得ながら小豆支部の充実発展に努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

小豆支部は現役の教職員、退職者を合わせて120余名の小さな支部です。活動内容も年1回の総会(研修会・懇親会)になっています。

松岡 裕之(教育・昭和55年卒)

木田 支部 Kita



平成30年度の木田支部の主な活動は、7月の役員会と8月の総会・懇親会並びに教育講演会の開催です。8月22日の総会は今年度もトRESTA白山で開催し、ご来賓として松楠会本部より梶野雅義副会長様並びに津山勝義学内理事様にご臨席いただき、ご挨拶やご

助言をいただきました。総会や懇親会には大勢のベテラン教員並びに若年教員の参加がありました。今後ますます積極的な参加を呼び掛けていきます。

午後からは、三木町防災センターで木田教育会との共催で教育講演会を今年度も開催しました。講師は、高松大学副学長七條正典先生にお願いし「道徳科全面实施上の課題と展望」と題してご講演をいただきました。七條先生からは道徳科における多様で効果的な指導方法についてご示唆いただきました。今後も松楠会が会員の親睦を深めつつも、教育課題等についてお互いに学ぶよい機会になればと思っています。

児玉 博美(教育・平成2年卒・三木町立平井小学校)

綾歌 支部 Ayauta



「香大の卒業生ということを再認識するとともに、この会がさらに発展すべく何らかの手助けをしたい」(初参加のOB) 「諸先輩の皆様と楽しい時間を共有でき、明日からの活力を得ることが出来ました」(現職の教諭) 「若年会員活性化事業の発表は堂々として前向きで頼もしかった。若い先生の活躍が楽しみ」(OB) このような参加者の声からも、同窓生としての絆の深まりを感じた5月の総会・講演「生き生き音楽ライフ」・懇親会でした。大先輩たちが高齢で参加が難しくなりつつある今、若い会員が少しずつ増えてきており、地区理事の方々の熱意に感謝です。

鷺辺 達子(教育・昭和45年卒)

仲善 支部 Tyuzen

『世代をこえて交流できる同窓会』のスローガンのもと、OB会員203名、現職会員157名の計360名が所属している。7月の総会と1月の新年祝宴の会を盛大に開催している。懇親の場では、会員の吟詠やヴァイオリンの演奏の拝聴、近況報告に笑顔の花が咲いている。また、折り紙や切り絵など、ワークショップ型の交流も継続している。新たに絵画パフォーマンスを申し出てくださった会員がおり、新年祝宴の



会での実施に向け準備中である。心豊かな「出会い」を大切にできる場である。

石井 恭子(教育・昭和51年卒)

三観 支部 Sankan

三観支部では、隔年で会報を発行しています。昨年度(平成30年度)は、杉村美代子氏の「がんばれ新米先生」と題した後輩に対する温かいまなざしと穏やかでしなやかな指導がうかがえるほっこりした文章や、小野孝氏のキス釣り2006匹記録、自身の骨密度161%、体内年齢46才という驚異的診断結果など興味深い文章がありますので、ぜひ読んでいただければと思います。

藤田 善秋(教育・昭和43年卒)

兵庫 支部 Hyogo



兵庫県支部総会は、5月25日(日)に予定しています。毎年1名~2名の初参加がいます。例年和気藹々と楽しい半日を過ごしています。

また、若手懇親会(将来の夢を語る会)を11月~12月に実施して、兵庫県の施設を利用したいと考えています。例年参加者が15名以内です。290名程度の方に案内を出しています。絆をつなげる工夫をしていきたいと考えています。

木岡 正雄(教育・昭和48年卒)

岡山 支部 Okayama



岡山支部総会は、8月11日に本部から山神理事長様、植田理事様のご臨席を頂き、さらに将来を担う岡山出身の10名の学生を含め総勢34名で開催しました。総会では役員改選も行いました。

総会後の講演会では、松楠会の会員の原先生(玉野市立荘内小学校)、松本先生(当時：和気町立和気中学校)お二人の道徳の実践発表をもとに、山本先生(当時：岡山大附属小学校)、植田理事様の助言講評を頂き、充実した研修を行うことができました。

今後とも、充実した支部運営を図りたいと考えています。

小林 巧(教育・昭和55年卒)

徳島 支部 Tokushima



松楠会徳島支部は、平成28年に結成された、14の支部の中では最も新しい支部です。毎年、夏に総会並びに親睦会を開催しています。20名ほどが参加し、近況報告やなつかしい大学時代の話などで盛り上がっています。徳島県で教職に就く予定の若手も参加しており、ネットワークも広がっています。今後とも人と人の繋がりを大切にしながら、松楠会徳島支部を活性化していきたいと考えていますのでご協力をお願いします。

橋本 隆(教育・昭和59年卒・北島町立北島南小学校)

香川大学教育学部創立130周年記念事業についてのお知らせ

■ 記念式典・記念講演会・祝賀会のご案内

母校教育学部は、創立以来、本年をもって130周年を迎えることになりました。

つきましては、これを記念して、記念式典・記念講演会・祝賀会を下記の通り開催いたしますので、ご多用中とは存じますが、ご出席の上、共に130周年の節目をお祝いくださいますようご案内申し上げます。

記

- 1 日時 令和元年10月20日(日) 13時より
- 2 場所 JRホテルクレメント高松 3階 飛天の間・玉藻の間
- 3 日程 受付 12:30～13:00
記念式典 13:00～
記念講演 14:30～
講師 有森 裕子氏
バルセロナオリンピック銀メダル、アトランタオリンピック銅メダル。
女子マラソン2大会連続メダリスト
演題 「よろこびを力に・・・」
記念祝賀会 16:00～
祝賀会会費 6,000円 当日受付にて申し受けます

■ 130周年記念募金についてお願い

松楠会では、創立130周年記念事業の一環として、記念募金を計画し、会員の皆様に募金のお願いをすることになりました。

松楠会並びに母校教育学部の発展のためにご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

募金要領

- 1 募金目標額 1,000万円
- 2 募金の趣旨 ①松楠会活動の活性化 ②母校教育学部への支援 ③松楠会基金への支援
- 3 寄付金額 3,000円以上 (1,000円単位で)
- 4 募金期間 令和元年7月～令和2年3月末
- 5 納金方法 追ってご連絡申し上げます。

記念事業の申し込み等詳細につきましては、各支部を通してご案内申し上げます。

松楠会支援事業

平成30年度松楠会支援事業の活動報告は、松楠会ホームページをご覧ください

令和2年度松楠会支援事業の募集

高校生以下の児童・生徒を対象にした青少年の健全育成事業、教育活動事業などに対する松楠会支援事業を下記の要領で募集します。

- 1 支援する事業は、松楠会の会員が企画・実施の中心になっているもので、1事業につきおおよそ30万円を上限とする。
- 2 提出書類 …………… (1) 企画書 (2) 予算見積書 (3) その他参考資料等
- 3 応募締切 …………… 令和2年1月31日
- 4 提出先および問合せ先 …… 〒760-8522 高松市幸町1-1 香川大学教育学部同窓会松楠会事務局
メールアドレス：syounan@ed.kagawa-u.ac.jp TEL：087-832-1414

なお、同一事業の採択は、4回までとします。選考結果については、2～3月中に通知します。対象となる児童・生徒に募集案内チラシ等を配布する際には、この事業が松楠会（香川大学教育学部同窓会）の支援を受けていることを明記し、そのチラシを企画書または報告書に添付して提出してください。

役員

会長	西山 徹						
副会長	中西真理子 梶野 雅義 貞廣美津子						
顧問	毛利 猛						
理事長	山神 眞一						
学内理事	寒川 洋一*	佐藤 明宏	西田 智子	坂井 聡	片岡 元子	山本木ノ実	
	植田 和也	宮本 賢作	塩井 実香	中島栄美子	大浦みゆき	高橋 智香	
	稗田 美嘉	佐藤 盛子	大熊 裕樹	久米 亜弥*	津山 勝義		
<small>(但し、佐藤(盛)、大熊、久米の学内理事期間は、人事交流の期間とする。津山の学内理事期間は、特命教授の期間とする。)</small>							
附属理事	藪内 康則*(高松) 樽本 導和 (坂出)						

支部事務局

	郵便番号	住 所・勤務校	担当者
高 松 支 部	760-0080	高松市木太町2613 高松市立木太北部小学校	池田 茂樹
丸 亀 支 部	763-0051	丸亀市今津町348 丸亀市立城坤小学校	北浦留理子
坂 出 支 部	762-0031	坂出市文京町1-9-4 香川大学教育学部附属幼稚園	桑原 育子
大 川 支 部	761-0905	さぬき市大川町南川61 さぬき市立さぬき南小学校	山中 正治*
小 豆 支 部	761-4411	小豆郡小豆島町安田甲1696-1	松岡 裕之
木 田 支 部	761-0702	木田郡三木町平木710-1 三木町立平井小学校	児玉 博美
綾 歌 支 部	769-0105	高松市国分寺町柏原1034	鷺辺 達子
仲・善 支 部	765-0001	善通寺市仙遊町1-10-20	石井 恭子*
三・観 支 部	768-0060	観音寺市観音寺町甲2558-1 観音寺市立観音寺小学校内	藤田 善秋
愛 知 支 部	470-1167	愛知県豊明市栄町西大根99-24	古田三千年
大 阪 支 部	567-0884	大阪府茨木市新庄町6-9	信垣 綾子
兵 庫 支 部	651-2277	兵庫県神戸市西区美賀多台4-7-20	木岡 正雄
岡 山 支 部	701-1211	岡山県岡山市北区一宮892-9	小林 巧
徳 島 支 部	771-3201	徳島県名西郡神山町阿野字五反地187-1	大草 晴香

事務局報告

平成30年度評議員会(総会)の報告については、松楠会ホームページをご覧ください。

平成30年度 松楠会支援事業

- 動くおもちゃ作り・木工教室 (大川支部 代表 多田 照代 他)
- 水ロケット甲子園2 (代表 大野 憲三 他)
- とともに歌おう2018 (合唱団ミュージックウェイ 代表 渋谷 清壽 他)

平成30年度 学生支援事業

- 第17回未来からの留学生 (平成30年10月14日(日) 香川大学幸町キャンパス)
- 第12回わくわくコンサート (平成31年2月10日(日) サンポートホール高松)

平成30年度 表彰者

- 坂井 聡 ユニバーサルデザインの国際的な賞である『IAUD アウォード2018 金賞』を受賞 2万円
- 山神眞一・片岡元子 『幼児期の運動遊びと子どもの育ち』 2万円

平成30年度 助成者

- 山神眞一 国際交流に関する大学訪問旅費支援として(オークランド大学) 10万円



瀬居町で成長



坂出市立瀬居中学校 教頭 谷本 里都子

平成28年4月より私が勤務している坂出市立瀬居中学校は、全校生徒13名の小規模校です。西には瀬戸大橋を望み、のりの養殖や漁業がさかんに行われています。昭和43年、埋め立てにより陸続きとなり、番の州工業地帯の完成と同時に本校も新設されました。

瀬居中学校の伝統的な行事を2つ紹介します。1つめは、毎年4月29日に行われるお大師市。お接待のところで瀬居町を訪れた方々をゲームやお茶でもてなし、お客様からの笑顔や感謝の言葉で生徒は元気もらいます。毎年、たくさんの方々瀬居町を訪れ、瀬居中学校の生徒のお接待を喜んでくれています。学校でのお接待が終わると生徒は教職員とともに1円玉を持って、町内のお地蔵さんを巡り、町民からのお接待を受け、生徒は小さい時から瀬居町の伝統、お接待の場所を学んでいます。今年は瀬居島でアートプロジェクトが開催され、教職員と生徒でアート巡りを堪能しました。2つめは、瀬居町民&小中合同運動会。漁師町らしく大漁旗が運動場をはためく中、小学生と中学生、保護者や地域の方々と汗を流します。生徒数が少ないため、小学校と合同で行事を共催したり、地域や保護者の方々の力をお借りしたりしないと学校行事もできません。行事のたびに地域の力や生徒の成長の大きさを実感します。

平成31年4月から坂出市のすべての小・中学校にコミュニティ・スクールを設置する取組が始まりました。瀬居小学校・瀬居中学校合同で1つの学校運営協議会を設置しての学校経営は坂出市内でも珍しい取組です。「地域で子どもを育て」、「小さい学校だからこそできること」を日々、実践していきたいと考えています。



瀬居町北浦の防波堤アート



お大師市でお接待する中学生



大漁旗がはためく中、小学生と競技する合同運動会



ソーラン節での決めポーズ

「香川大学創立70周年記念行事」記念式典等

令和元年11月2日(土) 実施予定

詳細が決まりましたら、松楠会ホームページに掲載いたします。

編集後記 ■ ■ ■

- 原稿執筆にご協力いただきました皆様のおかげで第56号会報を発行できますことを心から感謝申し上げます。今年度は、香川大学教育学部創立130周年記念の年となっております。会報や記念事業を通して、より一層同窓会の絆を深めていきたいと思っています。松楠会HPにもたくさんの情報を掲載しておりますので、ぜひご覧いただけますようお願いいたします。

松楠会ホームページ

松楠会

検索

<http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~syounankai/>



松楠会報

第56号

発行日 令和元年7月5日

発行人 西山 徹

編集 山神 眞一

片岡 元子

植田 和也

中島栄美子

山本木ノ実

香川大学教育学部同窓会 松楠会